

2022年度 事業報告



社会福祉法人
和歌山いのちの電話協会

ご挨拶

社会福祉法人 和歌山のいのちの電話協会
理事長 加藤 和子



和歌山城の周辺で外国からのお客様が楽し気に歩くのを見かけるようになりました。ようやく街の緊張がほどけるのを感じるこの頃、しばらく電話当番から離れておられた方のお名前を見つけるとほっとします。ボランティアの皆様には

同じ志という起点がありますので帰って来られるのは当たり前かもしれませんが、志を絶やさないでおられたことは大変貴重なことです。昨年からの相談員の種類の一つに設けた“OB 会員”にこの春数名が加わられました。5月に開いた初顔合わせの会では、同時に活動した記憶がない人同士も新たに知り合うことができました。どの方も気持ちの糸はまだいのちの電話の経験につながっており、「また何かのお役に立てれば嬉しい。」の思いがありました。

毎日がボランティア相談員の志に支えられながらいのちの電話、今 39 期の相談員養成が進んでいることに感謝です。25 名の応募がありました。

法人としては運営に当たる理事の改選を行いました。長く理事をしておられた小川一夫様が勇退され、新しく同じニュース和歌山の社長、福嶋啓之様が就任されました。また監事には昨年急逝された岩橋秀樹様の後任に評議員であった三木拓哉様が就任されていましたが、引き続き紀俊崇様と共に務めて下さいます。また理事会へのご意見をいただく評議員の一人に、新しく石関光朗様が選任されました。こうして体制を整えた理事会において私が再度理事長を拝命いたしました。これからの二年も協会の発展を願い努力を重ねていく所存でございます。ご支援いただいている皆様、関係者の皆様、どうぞよろし

くお願い申し上げます。

日本にいのちの電話がもたらされて半世紀、人の生きづらさの元に何があるのかの研究が進みました。国は自殺総合対策大綱を5年ごとに見直し、それを受けて自治体が対策を練ります。県と市の自殺対策を話し合う場に参加すると、「生きるための包括的支援」という言葉を実感します。各所ができることをする、皆で取り組む自殺予防となっています。いのちの電話もその一角を担っています。

昨年の孤独孤立相談ダイヤルでは、すでに何かの福祉制度に繋がっているのにそれでも「孤独を感じる」のが人の心なのだと痛感しました。いのちの電話は市民運動として「そこに話をする人がいる」場を保っていくことが使命なのです。

相談員は自分の心をかけ手の心に近づけて理解しようと一生懸命です。でも人の心の中は固く深く分け入るには難しいものです。ボランティア相談員の温かさが声で伝わってかけてくる人の心が緩みますように。相談員の志も人と共にある感覚を得てさらに高められていきますように、相談員とかけてくる人との両方が大事にし合う電話を皆で作っていききたいと思います。



2022（令和4）年度 事業報告

活動概要

コロナ禍も日常となった2022年度は、事業運営も落ち着きを取り戻し、中止していたグループスーパービジョン研修（必須）を再開させ、以前と同じ研修形態で相談員のスキルアップを目指すことが出来ました。また、受信件数はコロナ禍前の水準にほぼ戻すことができた1年となりました（年間受信件数 8558 件）。

受信件数の回復は、コロナ禍で休務していた相談員の復帰が進んだことを上回り、2021年度養成講座受講生（37期生）23名が準相談員として活動に加わり、相談員数が増えたことが一番大きい要因でありました。更に、2022年度養成講座受講生（38期生）17名が2023年4月から準相談員として活動に加わることで増員が進み、繋がりにくさが少しで

も改善できれば、より多くの相談者に寄り添うことが出来ることを期待しています。一方、一層経験の浅い相談員の割合が増えることになるため、フォローアップ研修の充実も課題となり、新たな取り組みが必要になります。

また、新たな取組として、日本のちの電話連盟が幹事団体として参画した内閣府「官民連携プラットフォーム 孤独・孤立相談ダイヤル」に和歌山のちの電話協会は、積極的に参加しました。孤独・孤立相談ダイヤル自体が試行年度という中での取組みでしたが、多くの相談員に協力していただくことができました。国の施策に参加（協力）しているということや日頃の相談電話と色合いの違う相談電話であることもあり、相談員の活動への動機付けになったと考えています。

(1) 電話相談事業

(ア) 開設状況

- ・通常電話 073-424-5000
毎日 10:00～22:00
- ・フリーダイヤル 0120-783-556
毎月10日24時間
毎日(16:00～21:00)
*和歌山は毎週金曜日のみ参加

(イ) 受信実績



(ウ) 相談員の状況

- ・登録相談員数(2023/3/31現在) 127名
- ・稼働相談員数(2022年度) 114名
*1年間に1回以上当番に入った相談員
- ・準相談員数(38期生) 17名
- ・OB会員数(2023/3/31現在) 8名

(2) 相談員養成事業

(ア) 38期生(2022年度)養成講座実施

- ・期間: 2022年5月21日(土)～10月29日(土)
全13日
- ・概要: 受講生24名でスタートし、17名の方が2023年4月より準相談員として活動開始予定。例年通りの和歌山市中央コミュニティセンターでの対面講義形式で行う。
- ・受講者数
開講時(2022年5月) 24名
終了時(2022年10月) 18名
適性面接(2022年11月) 17名
実習終了時(2023年3月) 17名

・養成講座タイトル・講師(敬称略)

- 5月21日 開講式・オリエンテーション
和歌山のちの電話の活動
いのちの電話の歴史と使命(講師:安田一之氏)
- 6月4日 精神疾患と治療(講師:高橋隼氏)
- 6月18日 グループワーク(講師:坂田真穂氏)
- 7月2日 発達障害について(講師:南方真治氏)
引きこもり支援について(講師:山本大輔氏)
- 7月16日 カウンセリングとは(講師:上野和久氏)
- 7月30日 児童虐待の本質(講師:桑原義登氏)
児童家庭支援の現場から(講師:武田麻里氏)
- 8月6日 年代別のこころの問題(講師:加藤和子氏)
いのちの電話の傾聴と寄り添い(講師:加藤和子氏)
- 8月20日 傾聴のために(ロールプレイ①)
(講師:林民和氏)
- 9月3日 聴くということ(ロールプレイ②)
(講師:林民和氏)
- 9月17日 障害者支援に関する法制度(講師:河合馨氏)
障害者自立支援について(講師:岩橋正悟氏)
- 10月1日 自分を知ろう・グループエンカウンター
(講師:木下忠恭氏)
- 10月15日 自殺念慮について(講師:東陸広氏)
今後のスケジュールについて事務連絡(事務局)
- 10月29日 心の危機に寄り添う(講師:森崎雅好氏)



・適性面接

11月12日 受検17名 ⇒ 合格17名

・実習(12月～3月)

現場実習を6回

集合研修を4回

- 12月3日 相談員の倫理(事務局)
実習オリエンテーション
(育成委員・実習担当者)
困難な電話の対応について
(講師:育成委員担当者)

1月28日 実習振り返り

2月25日 実習振り返り

3月25日 実習振り返り・実習終了

準相談員認定(17名)

2022（令和4）年度 事業報告

（イ）39期生（2023年度）養成講座開催準備

- ・準備活動（カリキュラム検討）
 - 11月 カリキュラム見直し検討・講師選定
 - 12月 講師スケジュール調整、会場確保
- ・募集活動
 - 1月 受講生募集チラシ製作（5000枚）・広報計画
 - 2月～ 募集活動開始

①インターネットでの告知活動
和歌山のいのちの電話協会 HP 掲載

②広告掲載等
県民の友（3月号）
テレビ和歌山 CM（3月）
ニュース和歌山 PLUS（3月号）
ぱど（3月3日号）
サンケイリビング（1月28日号）

③チラシ設置&配布
県・市町村公共施設・和歌山県内保健所等
和歌山市コミュニティセンター・NPOサポートセンター等
和歌山県内モスバーガー（5店舗）
モスバーガー三年坂店、
モスバーガー紀ノ川店、
モスバーガー岩出店、
モスバーガー海南店、
モスバーガー南紀白浜店
和歌山市自殺予防啓発活動にてチラシ配布（1000枚）
和歌山県社会福祉士会 会報誌に同封
和歌山県精神保健福祉士会 会報誌に同封

・応募状況

2023年3月末 申込者数 10名
2023年5月開講時 問い合わせ者総数 37名
申込者数 26名

（3）相談員研修・スキルアップ事業

（ア）準相談員（主に37期生）向け養成研修

- ・グループスーパービジョン
5グループ（対象者24名）にて、全14回実施
- ・個人スーパービジョン 対象者24名
- ・相談員認定審査
2月4日、5日実施 受検者21名 認定者数20名

（イ）全体研修

- ・「高齢期のスピリチュアルケア」
開催日時：10月8日13:30～15:00
参加人数：39名（会場23名 Zoom参加16名）
講師：飛驒千光寺住職 大下大圓氏（講師 Zoom）
和歌山県立医科大学連携教授、
日本スピリチュアルケア学会理事
会場：和歌山市中央コミュニティセンター



・「アンガーマネジメント」

開催日時：11月6日13:30～15:00
参加人数：40名（会場28名 Zoom参加12名）
講師：Healthy Field（ヘルシーフィールド）
代表 福成 三三代 氏
一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会
トレーニングプロフェッショナル
会場：和歌山県民文化会館 特設会議室



・「LINE相談の実際と支援のつなぎ方」

～10代・20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援～
開催日時：1月14日13:30～15:00
参加人数：38名（会場25名 Zoom参加13名）
講師：NPO法人 BOND プロジェクト
講師：水野 ちひろ 氏
（講師 Zoom）
会場：和歌山市中央
コミュニティセンター



（ウ）相談員グループスーパービジョン

- ・グループスーパービジョン 21回実施 相談員62名参加
- ・ライブスーパービジョン 3回実施 相談員3名参加

（エ）育成委員研修

- ・GSVリーダー研修①
開催日時：5月14日10:00～13:00
参加人数：6名
講師：臨床心理士 加藤 和子 氏
会場：中央コミュニティセンター
- ・GSVリーダー研修②
開催日時：5月19日10:00～12:00
参加人数：4名
講師：臨床心理士 加藤 和子 氏
会場：事務局
- ・第1回育成研修（Zoom）対応困難なコーラー対応について
開催日時：11月18日20:00～21:00
参加人数：10名
講師：臨床心理士 木下 忠恭 氏
会場：Zoom

（4）会議・連絡会の開催

（ア）運営委員会 年6回（隔月・第1火曜日に開催）

- ・5月17日 出席者15名
主な議題：当番出勤による交通費支給について、相談員既定の改定・倫理問題について、OB会（会員）について
- ・7月12日 出席者15名
主な議題：武田薬品工業様からの助成金申請について、官民連携プラットフォーム 孤独・孤立相談ダイヤルについて

2022（令和4）年度 事業報告

- ・ 9月13日 出席者18名
主な議題：近畿ブロック合同研修会（10/5）の案内、相談員全国研修会（オンデマンド研修）について、全体研修について
- ・ 11月8日 出席者14名
主な議題：当番の取り方について（キャンセル）、和歌山市社会福祉功労者表彰について、事務局内の災害対策について
- ・ 1月17日 出席者16名
主な議題：相談員認定式と勤続表彰について、いのち奏でるコンサート和歌山（京都カルテット）の協賛について
- ・ 3月8日 出席者15名
主な議題：来期の班再編について
来期の班長・副班長

（イ）育成委員会

- ・ 全体会議 1回目：4月16日 2回目：11月12日
- ・ 実習（38期生対象）関連打合せ
事前検討1（6/2～6/27 3回）
事前検討2（8/23～9/29 5回）
事前検討3（10/1、10/9、11/20 3回）
- ・ 2023年度全体研修検討
 - ①さまざまな相談に向き合う
講師：加藤 和子 氏 臨床心理士
 - ②相談員の癒し
講師：上野 和久 氏 臨床心理士
 - ③未定

（ウ）班会

- ・ 年6回（偶数月に開催）

（5）日本のいのちの電話連盟及び中部・近畿ブロックとの連携

（ア）日本のいのちの電話連盟

- ・ 総会 6月25日 富士見町教会 加藤理事長参加
- ・ 事務局長会議&研修会
7月2日 富士見町教会（ハイブリッド形式）
小西事務局長参加
- ・ 近畿・中部ブロック会議
1月17日 理事長 現地参加（三重）
事務局長 Web参加

（イ）近畿ブロック合同研修会（JRあんしん財団後援）

- 10月5日 ホテルビナリオ嵯峨嵐山（参加者5名）

（6）広報活動

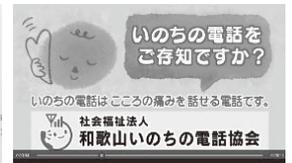
（ア）広報誌の発行（広報紙作成チーム）

- ・ 第58号（2022/08/01）
- ・ 第59号（2023/02/01）
- ・ 編集会議
2022年 4月17日 5月15日 8月28日
9月11日 10月16日 11月13日
12月4日
2023年 2月26日 3月26日

（イ）テレビCM（テレビ和歌山）

赤い羽根共同募金会様の支援による

- ・ 8月～3月まで、いのちの電話（和歌山いのちの電話協会）の広報CM（月10回）放映



（7）地域での自殺防止活動

（ア）地域自殺対策関係会議への参加

- ・ 和歌山県自殺対策連絡協議会
2022年10月24日開催 出席者：加藤（理事長）
- ・ 和歌山市市自殺対策推進協議会
2022年11月17日開催 出席者：加藤（理事長）
- ・ 岩出市自殺対策連絡協議会
2022年12月22日開催 出席者：小西（事務局長）

（イ）自殺予防啓発活動への参加

- ・ 自殺予防週間街頭啓発活動 啓発アイテムを1000セット配布
日時：2022年3月5日 11:00～13:00
主催：和歌山市保健所
参加人数：いのちの電話から4名参加
場所：イズミヤ 和歌山店



（8）その他

（ア）官民連携プラットフォーム 孤独・孤立相談ダイヤルへの参加

- ・ 期間
第1期（7/7から1週間）
第2期（8/30から1週間）
第3期 その1 12月1日（いのちの日）
第3期 その2 年末年始（12/28から1週間）
- ・ 和歌山いのちの電話は、4回参加し、合計75時間・78件を受信、5件のつなぎ支援を担当

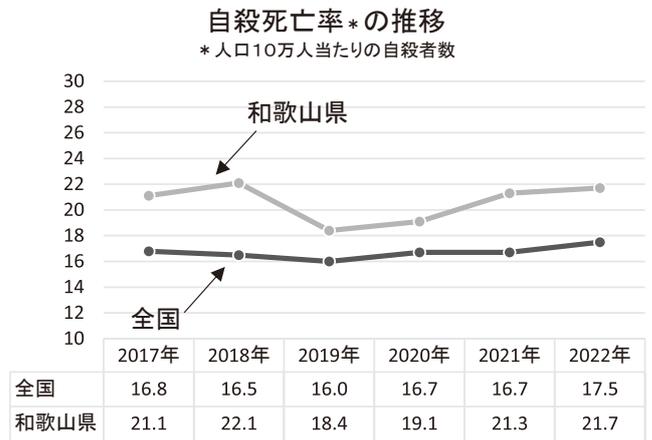
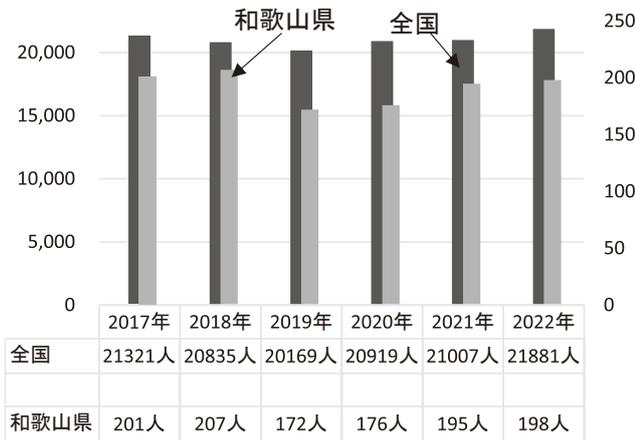
（イ）物品の助成（購入）

- ・ ブース内の椅子（2脚）
わかやまSDGsパートナーシップ基金（5万円）
- ・ プロジェクター（1台）・プリンター（1台）
武田薬品工業株式会社（15万円）

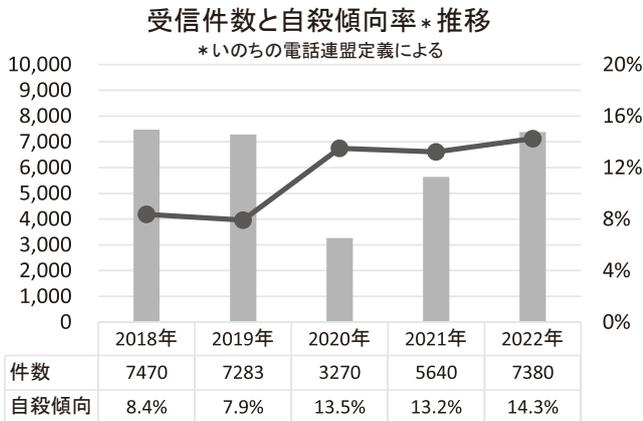
2022（令和4）年度 事業報告

電話受信件数集計 集計期間 2022年1月1日～2022年12月31日（1年間）

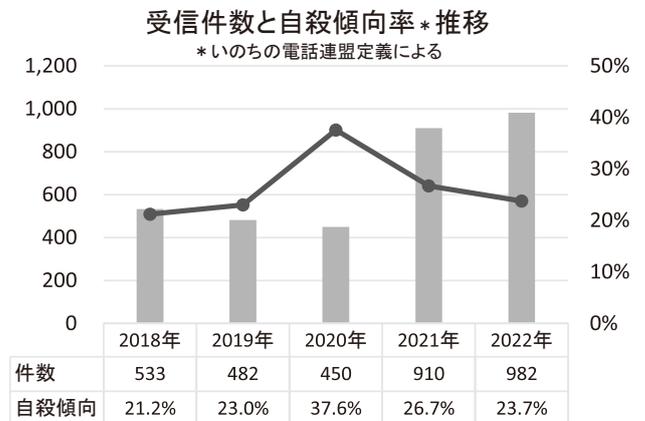
自殺者数と自殺死亡率の推移（全国・和歌山県） 警察庁発表（自殺の発生地における計上）



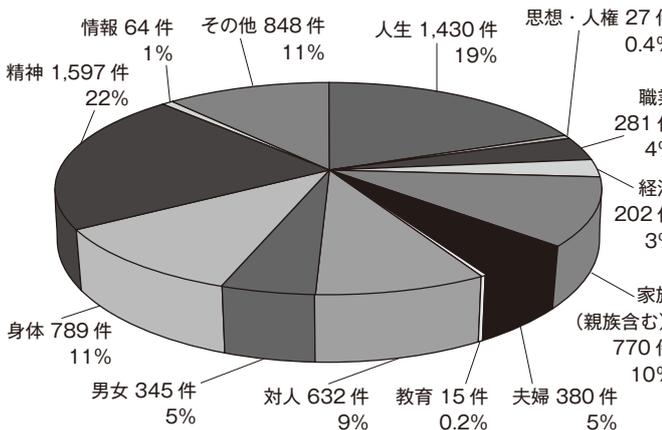
通常（和歌山いのちの電話）



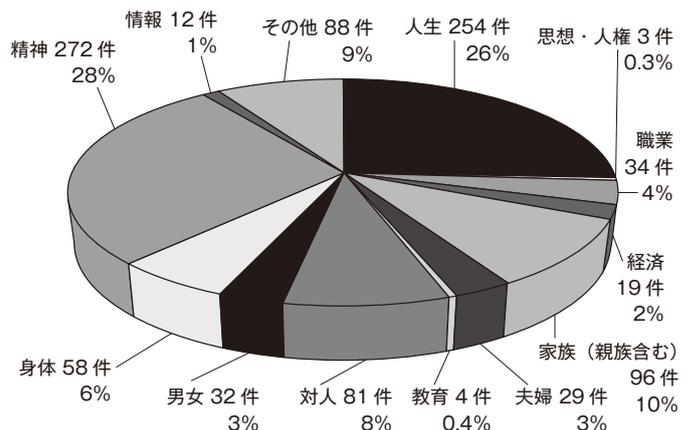
自殺予防フリーダイヤル（毎月10日＋毎日）



相談内容分類別件数と割合（7380件）

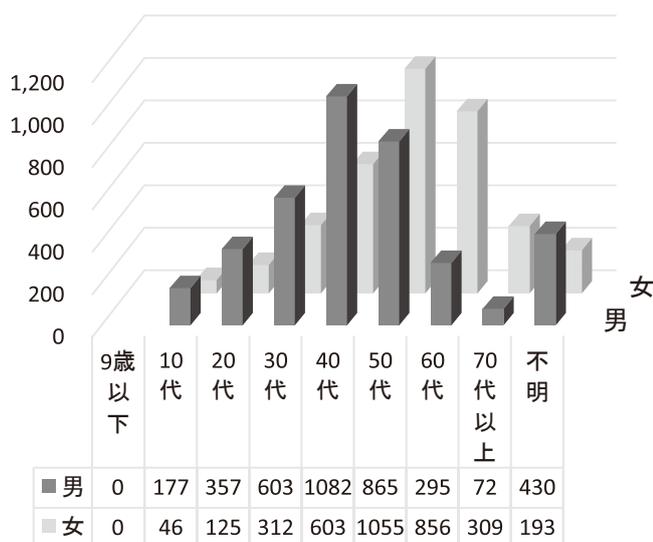


相談内容分類別件数と割合（982件）

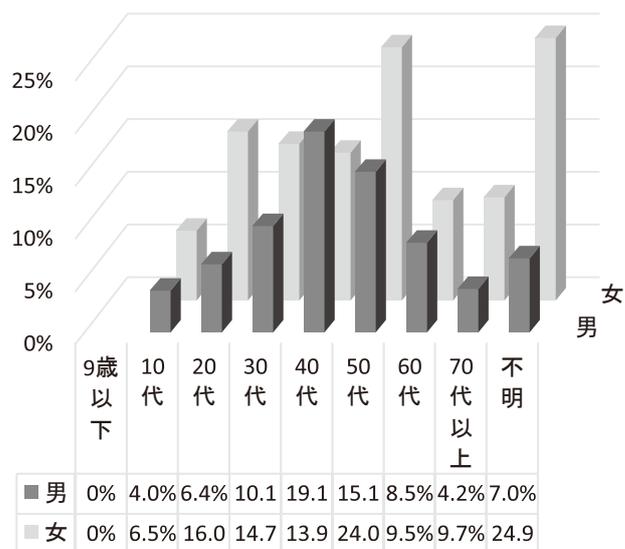


通常（和歌山のいのちの電話）

年代別受信件数の内訳(7380件)

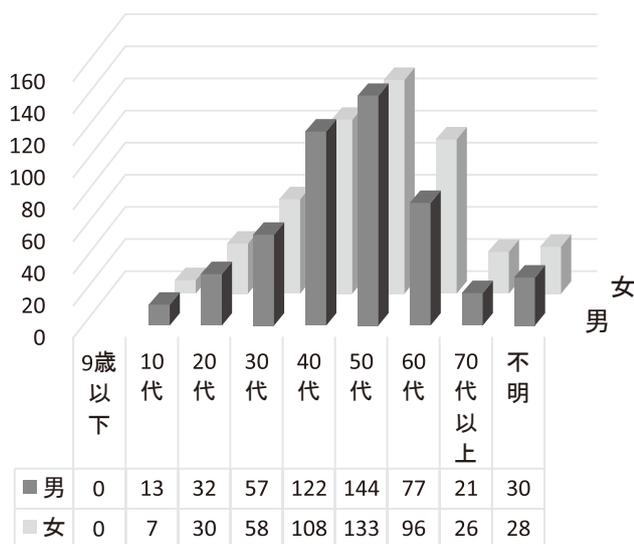


年代別自殺傾向割合(1055件)

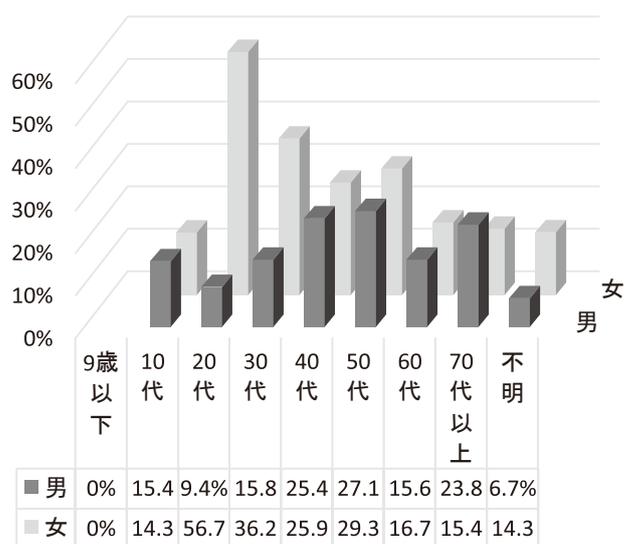


自殺予防フリーダイヤル（毎月10日＋毎日）

年代別受信件数の内訳(982件)



年代別自殺傾向割合(233件)



2022年全国の自殺者数は、2021年より874人(4.2%)増加しました。男女別では、男性は13年ぶりの増加、女性は3年連続の増加となりました。男性の自殺者数は、女性の約2.1倍となっています。和歌山県における自殺者数は198人(警察庁発表)と前年より3人増加し、人口10万人当たりの自殺者数(自殺死亡率)は21.7と昨年より微増し、都道府県別ではワースト5に入る状況です。

和歌山のいのちの電話協会では、「通常ダイヤル」7380件「フリーダイヤル」982件合わせて8362件(前年比128%)を受信しました。「通常ダイヤル」の自殺傾向率はコロナ禍後高いところに留まっています。件数の多い「50代女性」と「40代男性」のどちらも自殺傾向率も高いことがわかります。「フリーダイヤル」でも40代50代の件数が多く、若い年代は件数が少ない中で20代30代女性の自殺傾向がより高い結果となりました。コロナ禍での生活環境変化により、女性や若年層のメンタルヘルスの問題が社会問題となっており、今後も現状に注視していく必要があります。

2022 (令和4) 年度 事業報告

決算報告 (2022年4月1日～2023年3月31日)

資金収支計算書

(自) 2022 (令和4) 年4月1日 (至) 2023 (令和5) 年3月31日
(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	その他の事業収入	3,248,000	4,344,055	-1,096,055
	その他の事業収入	3,248,000	4,344,055	-1,096,055
	養成研修事業収入	360,000	405,000	-45,000
	補助金事業収入	2,456,000	3,280,255	-824,255
	会費収入	432,000	658,800	-226,800
	経常経費寄附金収入	500,000	412,483	87,517
	受取利息配当金収入	1,700	1,429	271
	その他の収入	176,000	484,200	-308,200
	事業活動収入計(1)	3,925,700	5,242,167	-1,316,467
	事業活動支出			
人件費支出	1,200,000	1,320,000	-120,000	
事業費支出	2,851,600	3,522,467	-670,867	
事務費支出	666,000	1,097,829	-431,829	
事業活動支出計(2)	4,717,600	5,940,296	-1,222,696	
事業活動資金 収支差額(3)=(1)-(2)	-791,900	-698,129	-93,771	
施設整備等による収支	収入 施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出 固定資産取得支出		104,380	-104,380
	器具及び備品取得支出		104,380	-104,380
施設整備等支出計(5)	0	104,380	-104,380	
施設整備等資金 収支差額(6)=(4)-(5)	0	-104,380	104,380	
その他の活動による収支	収入 その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出 その他の活動支出計(8)	0	0	0
	その他の活動資金 収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0
予備費支出(10)	50,000	0	50,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-841,900	-802,509	-39,391	
前期末支払資金残高(12)	914,257	3,036,299	-2,122,042	
当期末支払資金残高(11)+(12)	72,357	2,233,790	-2,161,433	

監査報告書

監査報告書	
社会福祉法人和歌山のいのちの電話協会の2022(令和4)年度における会務及び会計監査を下記により厳正に実施しました。	
記	
1 監査実施日	2023年(令和5年)5月8日
2 監査資料	
(1)	会務報告書
(2)	収支決算書・貸借対照表・財産目録
(3)	預金通帳
(4)	関係諸帳簿等証拠書類
(5)	会議議事録
3 監査意見	
諸帳簿及び証拠書類は、いずれも正しく整備され、収入、支出ともに適切に処理されていると認めます。	
2023(令和5年)年5月8日	
監事	王木 拓哉 (印)
監事	紀 俊康 (印)

貸借対照表

2023 (令和5) 年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	2,707,174	3,351,313	-644,139	流動負債	473,384	315,014	-158,370
現金預金	931,174	1,575,313	-644,139	未払費用	350,321	229,151	121,170
未収補助金	1,776,000	1,776,000	0	預り金	3,063	3,063	0
				前受金	120,000	82,800	37,200
固定資産	39,003,210	39,370,208	-366,998	固定負債			0
基本財産	10,000,000	10,000,000	0	負債の部合計	473,384	337,130	158,370
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	29,003,210	29,370,208	-366,998	基本金	10,000,000	10,000,000	0
建物	420,120	628,533	-208,413	国庫補助金等特別積立金	505,847	557,506	-51,659
器具及び備品	905,990	1,018,375	-112,385	その他の積立金	27,500,000	27,500,000	0
ソフトウェア	177,100	223,300	-46,200	施設整備等積立金	9,700,000	9,700,000	0
施設整備等積立資産	9,700,000	9,700,000	0	運営基金積立金	17,800,000	17,800,000	0
運営基金積立資産	17,800,000	17,800,000	0	次期繰越活動増減差額	3,231,153	4,349,001	-1,117,848
				(うち当期活動増減差額)	-1,117,848	-850,276	-267,572
資産の部合計	41,710,384	42,721,521	-1,011,137	純資産の部合計	41,237,000	42,406,507	-1,169,507
				負債及び純資産の部合計	41,710,384	42,721,521	-1,011,137

2023（令和5年）年度事業計画

基本方針

2023年5月に 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを「5類」に引き下げることで、社会活動がコロナ前の状態に戻っていくものと期待します。

2022年度（令和4年）は順調に相談員の養成が進んだことで、2023年度（令和5年度）は相談員認定を受けた20名（37期）、準相談員17名（37期1名、38期16名）が新たに加わり、相談員数が150名となる見込みです。稼働相談員は110名（休務者40名）となり、2022年度に目標として掲げた「稼働相談員100名の確保」については達成が見込まれます。相談員の高齢化による引退などは避けられないが、新たなメンバーが長く活動できるよう、ニーズをくみ取りながら相談員数の維持に取り組んでいきたいと思ひます。併せて、より質の高い相談活動を維持するための研修・環境整備に注力し、複雑化する相談内容に寄り添える相談体制を充実させたいと考えています。

(1) 電話相談事業

(ア) 受信件数



2022年度の総受信件数は約8362件と年々増加傾向となり、コロナ前の水準に戻る。稼働相談員数が増えたこともあり、受信件数9000件を目標とする。

(イ) 和歌山のいのちの電話相談電話（073-424-5000）の実施

開設時間：10：00～22：00

休 日：年中無休

(ウ) フリーダイヤル（日本のいのちの電話）への参加

・毎月10日24時間フリーダイヤル

・毎日フリーダイヤル（16：00～21：00）

和歌山センターは金曜日のみ参加

(エ) 交通費の支給の実施

2022年度に引き続き、相談員への交通費を支給

(2) 新しい電話相談員の養成

(ア) 第38期生の相談員認定への取組み

2024年2月の相談員認定に向け、フォローアップを実施。

・グループスーパービジョン（ピアスーパービジョン）研修

・個人スーパービジョン

・電話相談員認定審査（2024年2月実施予定）

(イ) 第39期電話相談員養成講座の開催

15名での開講を目標とし、年度末の時点で12名の方が準相談員に進むことを目標とする。

・養成講座 2023年5月21日（土）～2023年10月28日（土）

・受講費用 受講生負担1.8万円（申込金3,000円を含む）

・適性面接 2023年11月11日（土）

・実 習 2023年12月～2024年3月下旬

(ウ) 第40期電話相談員養成講座開催の準備

2023年11月より準備活動に着手

(3) 研修・スキルアップ

(ア) 全体研修

全相談員を対象とした講義・講演形式の研修を年3回実施
テーマは相談員の希望をもとに育成委員会で検討し企画する

・さまざまな相談に向き合う

講師：加藤 和子 氏

・相談員の癒し

講師：上野 和久 氏

・未定

(イ) 必修研修

全相談員を対象とした必修研修

・グループスーパービジョン（ピアスーパービジョン）

又はライブスーパービジョン形式で実施。

(ウ) 任意研修

・専門職によるグループスーパービジョン

・個人スーパービジョン（ピアスーパービジョン）

・ライブスーパービジョン（ピアスーパービジョン）

(エ) 育成研修

育成委員を対象とした研修を育成委員自身が企画、年3回実施

(4) 会議・連絡会の開催

(ア) 運営委員会

運営委員会は、当協会の円滑な運営と相談員の意見収集、情報伝達を図ることを目的とする。具体的な活動の問題点を取り上げて議論する場、及び理事会・事務局からの決定事項の連絡の場
構成メンバーは、各班の代表及び事務局等とし、年6回開催

(イ) 育成委員（会）

研修の立案及び実習生・準相談員のメンター役、相談員のリーダー役としての役割

(ウ) 班会

電話相談員はいずれかの班に所属し、運営委員会での決定事項・連絡事項を班員に伝達するとともに、日頃の問題点や課題を話し合い、必要により運営委員会の議題となるよう意見の集約を行う
各班において、運営委員会開催の間に開催し、年6回実施

(5) 日本のいのちの電話連盟及び中部・近畿ブロック会との連携

2023年 6月 日本のいのちの電話連盟総会

開催場所：東京

2023年 7月 日本のいのちの電話連盟事務局長研修会

開催場所：東京

2023年 未定 公益財団法人JR西日本あんしん社会財団主催

近畿ブロック合同研修会

開催場所：未定

2024年 1月 中部・近畿ブロック会

開催場所：滋賀県

2023（令和5年）年度事業計画

(6) 広報活動

- (ア)「いのちの電話」及び相談電話番号の和歌山県民への周知活動を実施
- ・和歌山市暮らしのページへの広告
 - ・かつらぎ町暮らしのページへの広告
 - ・紀の川市暮らしのページへの広告
 - ・和歌山市役所1階サイネージでの広告

(イ) 広報誌の発行

- ・有志の作成チームにより年2回の発行を行う
- ・和歌山いのちの電話協会関係者及び和歌山県内の公共施設・団体等への配布

(7) その他

孤独・孤立相談ダイヤル

2022年度と同様に孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム「孤独・孤立相談ダイヤル」への参加

(8) 寄附金、助成金、補助金

補助金・助成金の申請

- (ア) 和歌山県（自殺対策補助金） 76.7万円
- (イ) JR西日本あんしん財団（助成金） 60万円
- (ウ) 和歌山市社会福祉協議会（助成金） 5万円
- (エ) 赤い羽根共同募金会（助成金） 100万円

2023(令和5)年 収支予算書

(自) 2023(令和5)年4月1日 (至) 2024(令和6)年3月31日
(単位:円)

勘定科目		2022年度 実績(A)	2023年度 予算(B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	その他の事業収入	4,344,055	3,368,000	976,055
	その他の事業収入	4,344,055	3,368,000	976,055
	養成研修事業収入	405,000	270,000	135,000
	補助金事業収入	3,280,255	2,426,000	854,255
	会費収入	658,800	672,000	-13,200
	経常経費寄附金収入	412,483	400,000	12,483
	受取利息配当金収入	1,429	1,200	229
	その他の収入	484,200	1,000,000	-515,800
	事業活動収入計(1)	5,242,167	4,769,200	472,967
支出	人件費支出	1,320,000	1,741,000	-421,000
	事業費支出	3,522,467	2,585,000	937,467
	事務費支出	1,097,829	1,709,600	-611,771
	事業活動支出計(2)	5,940,296	6,035,600	-95,304
事業活動資金 収支差額(3)=(1)-(2)	-698,129	-1,266,400	568,271	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
固定資産取得支出	104,380	0	104,380	
器具及び備品取得支出	104,380	0	104,380	
施設整備等支出計(5)	104,380	0	104,380	
施設整備等資金 収支差額(6)=(4)-(5)	-104,380	0	-104,380	
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出			
その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金 収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)		0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-802,509	-1,266,400	463,891	
前期末支払資金残高(12)	3,036,299	2,233,790	802,509	
当期末支払資金残高(11)+(12)	2,233,790	967,390	1,266,400	

法人役員

2023年6月現在 敬称略

任期 令和5年6月～令和7年5月

任期 令和3年6月～令和7年5月

理事長 加藤 和子

評議員 竹中 庸之 北野 愛子 中 拓哉

柳瀬 智明 高木 歆恒 戸井 洋木

理事 上野 和久 東 睦広 市野 弘

坂田 真穂 古川 祐典 石関 光朗

小西 慶直 河合 馨 福嶋 啓之

監事 紀 俊崇 三木 拓哉

感謝報告

和歌山いのちの電話の運営のために
次の方々からご支援いただきました。
誠にありがとうございました。

い

(株)石橋 石橋幸四郎
市野 弘
岩崎 頼子

う

上野 和久
宇治田 幸雄

お

岡本 由美
小川 一夫

か

加藤 和子
川島 正明

き

北野 愛子
北野 敏紀

こ

小林 千恵

さ

坂本 義浩

そ

惣光 寺

た

高木 歆恒
高須 斗季子
高橋 三宜代
竹下 淳也

つ

堤 久美

て

医療法人天竹会 理事長 竹中庸之

な

仲 幸雄
永石 眞砂子
中谷 静子

に

西 陽子
西岡 里美
日本基督教団東梅田教会

は

林 千代子
(株)春風会 三木拓哉

み

光成 美子
南出 裕子

や

柳瀬 智明

よ

横田 栄夫

わ

渡辺 友子

(敬称略)

あなたのご支援をお待ちしております。

和歌山いのちの電話協会では、収益活動を行っていないため、運営に関わる資金を、寄付金、補助金、会費で賅っています。そのため、安定した運営には至っておらず、財政的に厳しい状況が続いております。

どうか、一人でも多くの方々の心の痛みに寄り添う為に、このボランティア活動にご賛同いただき、支援会員という立場で、ご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

個人支援会員 年間1口 3,000円
法人支援会員 年間1口 10,000円
(ご支援は1口以上、何口でも結構です、お気持ちをお願いします)

振込先 ◆郵便振替 00940-9-106933
和歌山いのちの電話協会

◆紀陽銀行 本店 普通 732389
社会福祉法人 和歌山いのちの電話協会

ご支援いただいた寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

支援者のお名前は広報誌に感謝報告の掲載をさせていただき、講演会の案内なども送付させていただきます。

相談電話

和歌山	午前10時～午後10時(年中無休) 073-424-5000
フリー ダイヤル	毎月10日は24時間 毎日午後4時～午後9時(通話料無料) 0120-783-556
ナビ ダイヤル	午前10時～午後10時(年中無休) 0570-783-556

和歌山いのちの電話は様々な悩みや

心の危機に直面している方や

身近に相談できる相手がなく

孤独の中にいる方のための相談電話です。

発行日 2023年7月

発行人 加藤 和子

発行所 社会福祉法人 和歌山いのちの電話協会

〒640-8137 和歌山市吹上5-2-15

電話/073-425-3261 FAX/073-425-3267

ホームページ/<http://www.w-inochi.com/>